金融基幹系向け“高信頼ブロードバンドネットワークソリューション”

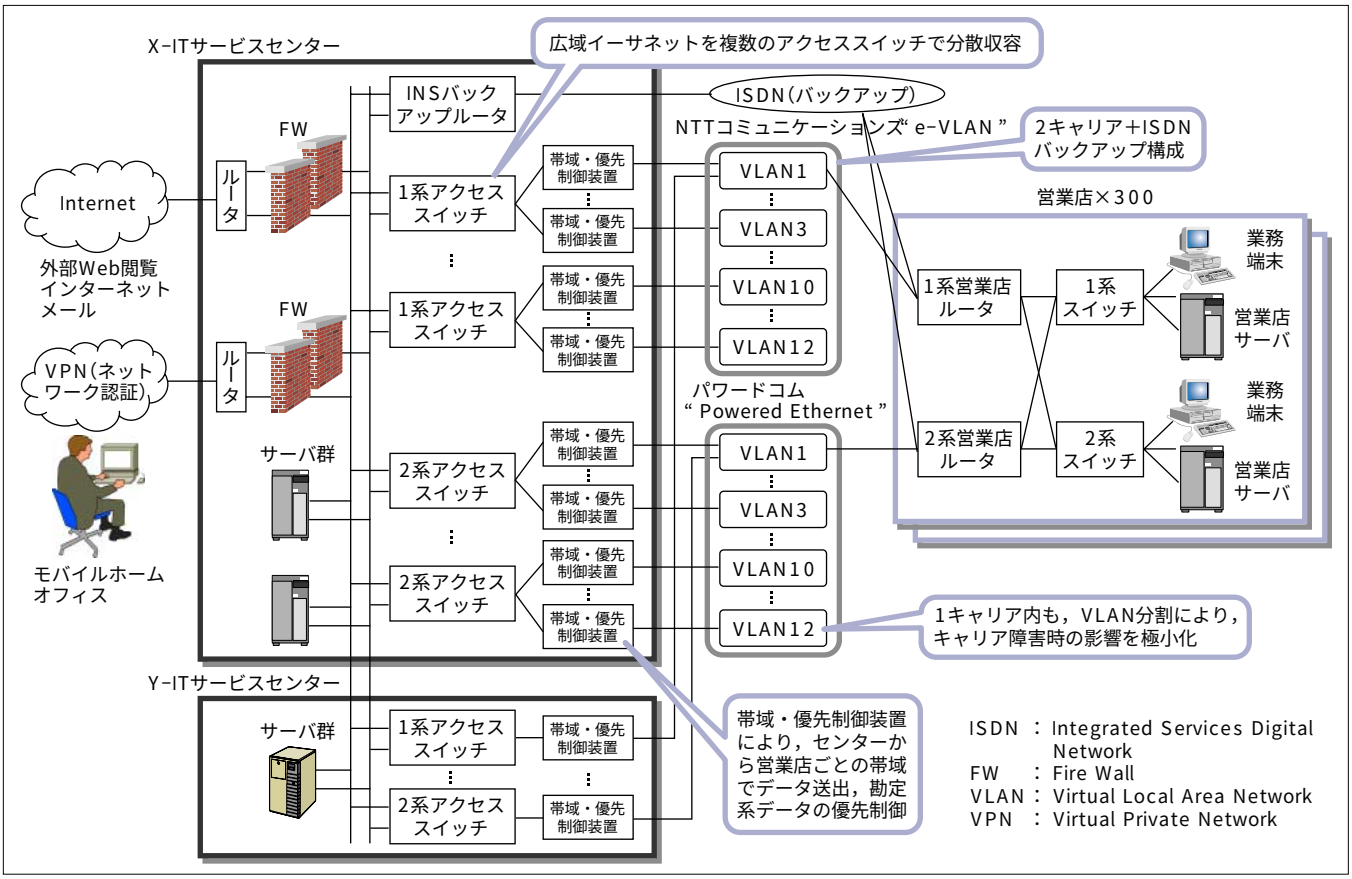
止部久仁彦*　重野俊浩*
大月英雄*
井上紀明*

要　旨

三菱電機インフォメーションシステムズ㈱（MDIS）は，“高信頼ブロードバンドネットワークソリューション”により，従来難しいとされていた大手都市銀行ネットワークのブロードバンド化を，広域イーサネット及びVLAN（Virtual Local Area Network）構築技術を応用して短期間に実現可能としている。特に，マルチキャリア採用による高信頼性の確保，帯域・優先制御装置導入による勘定系など重要トラフィックの保護，ブロードバンド化対応の運用管理システム構築等がその特長と言える。

㈱東京三菱銀行への導入では，“高い信頼性が必要な勘定系システムの通信に都市銀行では初めて広域イーサネットサービスを採用した”ことが評価され，同行は日経コンピュータの第７回情報システム大賞・先進技術賞[1]を受賞し，現在は金融系ブロードバンドネットワーク構成のモデルになっている。同行は，このブロードバンドネットワークを活用した行内業務革新も推進しており，本部・支社・営業店，さらにはモバイル活用を前提とした行外の行員個人までがブロードバンドネットワークで結合され，ITシステムを活用した業務の効率化，特に情報検索・入手にかかる時間の短縮化をテーマとして取り組んでいる（MDISはそのIT化も支援している）。

今後は，高信頼ブロードバンドネットワークソリューションを他業種へ展開していくとともに，音声ブロードバンドネットワーク化への取り込みや，海外及び社外接続等においても安価で高速・安全なサービスを提供していく。



（株）東京三菱銀行営業店ブロードバンドネットワーク全体構成

広域イーサネットは，NTTコミュニケーションズの“e-VLAN”及びパワードコムの“Powered Ethernet”を採用し，二系統化してキャリア障害時のリスク分散を図っている。また，帯域・優先制御装置により，センターと営業店間の帯域制御及び重要データの優先制御を実現し，広域イーサネット内では，複数のVLANに分割することでネットワーク障害時の営業店への影響範囲を最小限にしている。

*三菱電機インフォメーションシステムズ㈱